

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
平川市	平賀⑨ (新屋)	令和2年3月	令和3年3月

1 対象地区の現状

①地区内の農地面積	223.0ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の農地面積の合計	132.6ha
i うち50才以上で後継者が決まっている農業者の農地の合計	30.0ha
ii うち50才以上で後継者が未定の農業者の農地面積の合計	75.9ha
iii うち50才未満の農業者の農地面積	26.7ha
③地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.2ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none">・水稲生産組合で請け負っている面積が減少しているうえ、あと数年でオペレータ不足になる。・山手のりんご栽培をやめてしまい、後継者がいる人などは平場に移行している。・水田も苗代が残っており、基盤整備もなかなか進まない。・通年雇用が困難なため、労働力を確保できない。・中心経営体となる担い手がそもそも少ない。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none">・稲作は生産組合の法人化を目指し、集約する。
<ul style="list-style-type: none">・新規就農者に集約していく。